

2019

vol.28

3.15

Agriculture
committee

甲賀市 農業委員会だより

- 02 輝け未来／市長に意見書を提出
- 03 女性農業委員茶話会／伊賀市農業委員会との交流会
- 04 賃借料情報／平成30年総会取扱件数／推進委員の紹介
- 05 農地パトロール／非農地証明について／違反(無断)転用について／一農家の独り言
- 06 地域で頑張る農業者紹介／編集後記

輝け未来



有限会社しまだファーム

みなくちちょう やま
水口町 山

輝け未来

Q しまだファームとは？

A 水口町山区を拠点に、水田約75haで米・そば等を生産しています。また、約2600㎡のビニールハウスで、ほうれんそう・小松菜・サニーレタス・いちごを生産し、主にJAこうか花野果市を通して販売しています。

法人の設立は平成17年で、役員・従業員6名と、季節パートや研修生数名で、『消費者に最高のものをお届けする』ことをモットーに、農業経営に励んでいます。

Q 苦労や課題は？

A 主力作物の米に大きな被害をもたらすのが獣害です。特にイノシシの被害が大きく、対策に悩まされています。また、約75haの水田は約350枚のほ場に分かれるので畦畔の面積も大きく、草刈りにもてこずります。散らばっている農地の集約化を進め、作業の効率化を図らなければなりません。

Q 力を入れていることは？

A 経営の柱は米の生産販売ですが、2012年からそばの栽培を行い、商品開発にも取り組んでいます。そば粉から作る『しまだそば』は、風味・香りで評判を得ており、そばの実を使った『そば煎茶』も独特の美味しさがあります。



Q 今後は？

A 米については、農地中間管理機構を通して面積を集約していきたいと考えています。また、ハウスを効率的に活用して、おいしくて安心な農作物を作って行きたいと思えます。手間ヒマを惜しまず、自然に感謝し、夢のある農業を目指します。

(K)

市長に「農地利用最適化推進施策に関する意見書」を提出

1月28日、市の農業施策に関する意見書を岩永市長に提出しました。

意見書の内容は、担い手への農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進を柱とする「農地利用の最適化」に関するもので、高齢化や獣害など市が抱える課題への対策を、農業施策に反映させるよう求めるものとなっています。

農業委員会では、農地利用の最適化の推進を最も重要な業務と位置付けて活動しており、今回の意見書の提出もその一環となります。

意見書の詳細は、甲賀市ホームページの農業委員会のページでご覧いただけます。(J)



岩永市長に意見書を提出する
北田会長(中央)と田畑副会長(右)

女性農業委員茶話会

10月18日、甲賀市・湖南市女性農業委員茶話会を開催しました。

今回は、湖国女性農業・推進委員協議会の助成を受け、初めての試みとなりました。

当日は、甲賀市・湖南市農業委員会から両会長及び女性農業委員各市3名が参加し、るシオールファームの



茶話会の様子



意見交換会の様子

「べじらいす」にて昼食後、甲賀市役所会議室で意見交換会を行いました。

「女性就農者・地域の女性農業者について、両市が連携・情報共有した支援が出来るれば…」等の意見が出され、有意義な交流会となりました。

(N)

伊賀市農業委員会との交流会

11月13日、伊賀市農業委員会との交流会を甲賀市で開催しました。この交流会は毎年交互の市で実施されており、今回で7回目となります。

視察先のJA花野果市水口店では、店長から取扱商品や売上高等の概要説明のほか、JAこうか管内の直売所は4カ所と着実に増加している状況が説明されました。地元の伝統野菜の陳列や平日にもかかわらず多くの来客があることに、伊賀市からの参加者は感心しておられました。

その後市役所に移動し、伊賀市農業委員会7名と甲賀市農業委員会11名の間で意見交換会がもたれました。両市とも高齢化による担い手不足や中山間地域での困難性等共通する課題が多く、熱心に意見が交わされました。



JA花野果市での視察

また、農業委員と農地利用最適化推進委員の相互の意思疎通を図る体制づくりや、農地法申請事務の具体的な業務手順について事務局から説明があり、交流会は予定時間を超過して行われました。

今後も率直な意見交換の場の必要性を認識した交流会となりました。

(Y)

甲賀市農地賃借料情報

平成30年1月から12月までに締結(公告)された賃貸借における賃借料水準(10a当たり)です。
この賃借料情報は参考として提供していますので、貸し人・借り人の双方が話し合って決定してください。

1 田(水稻)の部

締結(公告)された地域名		平均額	最高額	最低額	データ数	備考
甲賀市一円	大規模基盤整備地域	8,900円	9,000円	5,000円	310	
	基盤整備地域	4,300円	7,000円	1,400円	252	
	未整備地域	3,300円	5,000円	1,000円	300	
甲賀市平均		5,600円		合計	862	
使用貸借権(無料)					381	

2 畑(普通畑)の部

締結(公告)された地域名		平均額	最高額	最低額	データ数	備考
甲賀市一円		18,100円	26,000円	10,000円	55	
使用貸借権(無料)					26	

3 畑(茶畑)の部

締結(公告)された地域名		平均額	最高額	最低額	データ数	備考
甲賀市一円	土山町・水口町 甲賀町・甲南町 全域	4,100円	5,965円	1,740円	11	
	信楽町 全域	10,000円	13,000円	5,200円	7	
甲賀市平均		6,400円		合計	18	
使用貸借権(無料)					0	

- ・データ数は平成30年1月から12月までに甲賀市内で賃貸借権及び使用貸借権が設定された農地の筆数です。
(賃貸借権…賃料を支払い農地の貸し借りをを行う 使用貸借権…無償で農地の貸し借りをを行う)
- ・平均額は下二桁を四捨五入し、100円単位で算出しています。
- ・データの平均値より1.7倍以上または0.3倍以下の賃借料は対象外としています。
- ・「甲賀市平均」は、各区分の平均値をデータ数により加重平均した値です。

平成30年総会取扱い件数

	件数
農地法第2条の規定に定める農地でないことの証明申請	10
農地法第3条許可申請(農地の売買・貸借)	30
農地法第4条許可申請(自己所有地の転用)	32
農地法第5条許可申請(農地を売買・貸借して転用)	79
農地法第4条・第5条による事業計画変更承認	3
民事執行法による農地等の売却に係る農地法の処理	1
農地法第4条届出	4
農地法第5条届出	54
農地法施行規則第29条届出	4
農用地利用集積計画決定(利用権等設定)	600
田畑転換等形状変更届出	6
農業経営改善計画認定申請	10
計	833

平成30年1月から12月の農業委員会総会での取り扱い件数です。

農地利用最適化推進委員の紹介

欠員に伴い募集していた農地利用最適化推進委員について、1月総会で議決され、以下のとおり委嘱することとなりました。

たにがわ きよじ
谷川 喜代司



担当地区

牛飼・
杣中・
山上

甲賀市水口町山上405
TEL 0748-62-4002

任期 平成31年1月10日～平成32年7月19日

農地パトロールを 実施しました

平成29年度に農地転用を許可した土地について、農業委員と推進委員が転用の実施状況を確認しました。これは、優良農地の確保と適正な農地転用の確認のために毎年行っているもので、今年度は11月から12月にかけて地域ごとに実施しました。



違反(無断)転用について

農地を農地以外に転用する場合は、農地法の許可が必要です。

許可を受けずに転用した場合は、農地法に違反することとなり、工事の中止や原状回復等の命令がされる場合があります。また、違反転用を行うと罰則も適用されます。

許可を受けず農地を転用してしまった場合は、ただちに農業委員会へご連絡ください。

お問い合わせ

農業委員会事務局 農地係 (69-2263)

非農地証明について

農地(田・畑)が荒廃するなど容易に復元することができない状態で、次に該当する場合は、非農地証明書を発行しています。

- 耕作放棄後20年以上経過して、荒廃地化し木々等が自生した土地
- 災害等により農地がかい廃(流失・埋没等)した土地
- 昭和27年10月20日以前より宅地や道路等に転用した土地

この証明により、地目を農地以外に変更することが可能になります。

一農家の 独り言

農家を継いで20年あまり。大規模農家をめざして農地の集積・集約は進めているが、中山間地域で未整備田の多いこの地域では、生産性より草刈り等の作業が増え負担が多くなる。

出作もしているが、「人・農地プラン」ができてない地域が多く、経営体育成支援事業等が受けられない為、国が進める施策には追いつけない。

また獣害が増えて獣害柵を設置しているため、一ほ場ごとの出入りには作業機から降り、門の開閉をしなくてはならぬ手間がかかる。加えて、道を走れば泥が落ちて汚い、乾燥機の音がうるさい、埃が飛んでくると様々なクレームがくる。少しずつ改善はしているが完全に解決はできていない。人を雇ったり、施設を建てたり、大規模化を目指すにも作業機を大型化しなくてはならないがそんな資金はない。

この地域の農業は、このままでは衰退してしまう。古きよき田園風景を守り、この地域の農業が発展するためには何をしなければいけないのか考え、行政には相談・指導等をお願いしたいし、できれば市独自の支援をしていただきたいと思う。

(T)

地域で頑張る農業者紹介

信楽町勅旨 はたなか 畑中 しんすけ 信介さん

信楽町牧の国道307号から少し入ったところ、60アールの畑の真ん中に500㎡のハウスが1棟建てられています。

Q 農業を始められたきっかけは

A 30才まではサラリーマンでしたが、会社の都合で退職し、以前からあこがれがあった農業をしようと思い組みました。県外から来ましたので、農地は中間管理事業制度を利用した借地です。

Q 野菜づくりの知識は

A まったくの素人です。栽培の本やネットなどで情報を収集し、自分でやり方を工夫して育てています。

Q 取り組んでいる作物は

A ハウス内はトマトを、畑にはキャベツやブロッコリーを栽培しています。

Q 苦労されていることは

A まだ3年目なので手探りです。疫病の発生や価格の急激な変動、厳しい自然への対応など、課題はいくつもあります。



Q これからの夢は

A いろいろ思いはありますが、まずは今の野菜作りを軌道に乗せていき、地元での直売や販路拡大に取り組んでいきたいです。

農業は人とのつながりが大事。

マイペースで着実に歩んでいきたいと話されていました。

国が支える。安心が大きくなる

担い手 積立年金
【要約】

農業者年金

安心して豊かな老後のため、**農業者年金に加入しましょう!!**

旧年金の経営移譲年金を受給されている方で、後継者に委譲した農地を転用される場合、年金が減額されることがありますので、事前に農業委員会事務局までご相談ください。

農業者年金加入条件 農業者年金は、次の要件を満たす方はどなたでも加入できます。

●60歳未満の方 ●年間60日以上農業に従事(配偶者・後継者も可) ●国民年金第1号被保険者

お問い合わせは…

甲賀市農業委員会事務局 TEL 69-2262

JAこうか営農企画課 TEL 62-0720

**全国農業
新聞**

■発行日 毎週金曜日
■購読料 1ヶ月 700円
■申込
農業委員会事務局
または地区農業委員へ

編集後記 2021年春、全国植樹祭が甲賀市甲賀町の鹿深夢の森で開催されることとなりました。豊かな甲賀市の自然と文化が全国に発信できるチャンスです。美しい田園風景とこの地で採れる農作物も知ってもらえるよう、盛り上げていきましょう。(K)